

平成 26 年 6 月（第 3 回）理事会概要

平田拓也(千葉6)、福島裕子(松戸1)にウッドバッジが授与された。
 ウッドバッジ研修所ベンチャースカウト課程千葉第17期所長報告が高橋一彦所長(A L T)よりあった。

I. 審議事項（承認事項）

1. 八習地区鎌倉恵子副コミッショナーの辞任について承認。
2. 東葛地区の海外派遣計画承認申請(7月31日～8月11日予定)の取り下げについて承認。
 ・先方を含めて関係各位が動いており多大な迷惑をかけている。今後は明確な計画のもとに申請をされることを要望された。
3. 千葉地区の第9回ヒューストン交流事業に関する派遣及び受入の申請について承認。
 - 1) 派遣：2014年12月23日～12月31日、スカウト8人、指導者2人、インストラクター1人の合計11人。
 - 2) 受入：2014年7月27日～8月3日、スカウト9人、指導者2人 合計11人。
4. 東葛地区 浅野 美穂子（我孫子1団、保健師）、山岸 淑子（柏1団、看護師）の「医療従事者の会」への登録について承認。

II. 報告事項

1. 平成26年5月末登録状況：6,903人 114ヶ団 523隊/前年同月比 -327人 前年度末比 -843人

2. 各種委員会報告

1) スカウト育成委員会

① 1スカウト章認証 隼章：清水 香寿美（松戸8）、横澤 オリザ（松戸8）・・・認証日 26.3.30分

② 宗教章取得紹介 仏教章：澤井 大輝（松戸6）、武田 康志（柏1）、岩城 壘（松戸11）、高橋 一晴（松戸6）

2) 安全委員会

① 第19回千葉県カブラリーでの救護所対応状況：頭痛、目の違和感、鼻血、湿布薬配布 の4人。

② 安全促進フォーラム（6/22）について：96人の参加申込があり準備中。

③ チャイルドプロテクションについて：登録証に挟める形で準備中、7月理事会では各団に配布予定。

3) 第19回千葉県カブラリー実行委員会

・5月11日、好天に恵まれ、大きな怪我や事故も無く、成功裏に終了。参加者：総計2,112人、スカウト955人、指導者830人他。報告書を総ページ数40～50ページ、400部の予定で作成に入っている。

5) 3CV 準備委員会

① 参加希望者68人で、計画の参加定員192人の約1/3。開催方法を再検討し、下記により実施する。。

活動基地	定員	希望数	追加募集数	備考	その他
北総 8/1	12	12	0	満員	
大青 8/5	24	14	11	追加募集	8/8分から移動可か確認要
小條塚城 8/8	15	19	0	満員	大青田 8/8 からの移動確認要
小見 8/3	16	12	4	追加募集	
南房 8/2	30	8	24	追加募集	
計	97	68	39		

・チーフリングのデザイン応募が無いので6月15日まで再募集する。

② 第3回千葉県ベンチャー隊長情報第3号を発行する。

6) 23WSJ 準備委員会

① 1次募集の参加申込状況：スカウト：227人（中1が多い）、指導者：17.5人、I S T：52.5

人で現状では6.3個隊分。9個隊の募集を目指していく。

- ・県連盟コミッショナー通達で地区コミッショナーに面接方法を伝えて、6/28に各地区単位で面接して頂き、日本連盟に参加申込をする。
- ・参加費納入後にキャンセルが発生した場合の参加費返却の基準を検討する。

②4月30日現在の協賛金申込み状況は、個人120口/84.2%、法人210万円/38.5万円/18.33%。

7) コミッショナーグループ

①平成26年度第1回全国コミッショナー会議報告

- ・5月25日 和歌山県民文化会館 ・日連役員 10人、事務局 3人、県連盟コミッショナー47人
- ・内容：(1)平成26年度日本連盟コミッショナー活動方針、(2)平成26年度各常設委員会の取組みについて、(3)各部門のプログラム見直し(特にBVS、CS部門の上進時期変更について)、(4)指導者養成体制の推進、(5)23WSJの準備状況、(6)ユニフォームの改訂について。
- ・CS及びBSへの上進時期変更に伴う移行パターン：1～3の案が示され、現実的には2.の9月上進から4月上進へのパターン2(平成26年9月に上進・進級し、平成28年4月に上進・進級する)が良いと考えている。この内容は県連盟内コミッショナー会議で説明する。

②平成25年度千葉県連盟隊指導者研究集会評価報告書について(平成26年2月開催)

- ・参加者区分：隊長46%、副長34%、地区・団担当コミッショナー12% 他
- ・目標に対して 良い：4 悪い：1で各地区コミッショナーに評価頂いたが、平均するとスカウト教育法におけるゲームの意義を知る (評価：3.6)
対象年代や活動場所、目的に合わせたゲームの種類について知る (評価：3.2)
各部門の集会で使えるゲームを数多く覚える (評価：3.7)
覚えたゲームを目的に合わせて、日頃の活動の中で使う事ができるようになる (評価：3.2)
- 参加者からも良い評価であり、今後の隊運営に効果が期待できる。
- ・重症含めて怪我人が4人出てしまい、安全対策は講じていたが、不十分だったと反省している。

以上